

苫小牧市営住宅入居者選考基準審議会 会議録（要旨）

- 1 会議日時 平成29年4月6日（木）
- 2 場 所 市役所第2庁舎1階会議室
- 3 出席者 （委員）山田委員、白戸委員、坂本委員
木村委員、大西委員、成田委員
欠席 岡田委員、高橋委員
（事務局）栗野都市建設部長、深薮住宅課長
奥井管理係長、紺世管理係主査、杉本前管理係長

4 開 会 午前10時00分

5 議 事

（1）報告事項

①平成29年度苫小牧市営住宅事業概要について

～質疑応答～

委 員 平成28年度理由別退去件数のうち、行方不明による退去件数が58件となっているが、多いのでは？

事務局 行方不明ではなく、転居先不明による件数である。

委 員 平成28年度建設状況の公営住宅戸数は58棟で良いのか？

事務局 58戸である。

②平成29年度市営住宅入居者募集について

～質疑応答～

委 員 エレベーターが無い中層住宅の1・2階部分は高齢者・身体障害者向けとなるが、この件を窓口で申込まれる方には説明できるが、郵送で申込まれる方には説明できないのでは？

事務局 郵送で申込まれる方への説明については、市営住宅入居者募集のしおりを読んでいただくことでの対応となる。

(2) 審議事項

①特定目的住宅の追加について

- ・人口減少時代を迎え、社会増の重要性が増すなか、若い世代は安心して働ける社会づくりが求められている現状。若い世代への支援策の一環として、経済的負担の軽減、本市への定住、少子高齢化対策に寄与することなどを目的に市営住宅の新婚世帯優先枠を新設する。
- ・入居条件としては、入居者及び同居者であるその配偶者の年齢合計が70歳以下であって、かつ、いずれも40歳以下であること。また、婚姻の届出の日から2年を経過していないこと。(事実婚は除く)。
- ・平成29年度一般公募時から開始。

* 提案どおり承認

②入居者の選考について

- ・入居申請時の困窮度調査において困窮度配点15点以上の世帯について2回抽選とし倍率優遇を図り、一般募集住宅の入居者選考に困窮度を反映する。
- ・高齢者世帯、身障者世帯、母子世帯、過去3年以上連続して申込をし入居出来なかった世帯について抽選回数を1回、過去6年以上連続して入居出来なかった世帯について抽選回数を2回、過去9年以上連続して入居できなかった世帯について抽選回数を3回付加する優遇措置を実施する。ただし付加条件の併用はせず、一番有利な付加条件を一つ採用する。
- ・公開抽選は審議会委員による管理抽選とし、抽選当日欠席しても有効とする。
- ・特定目的住宅の入居選考に関しては、抽選によらず困窮度状況申告書による審査により、入居順位を決定する。

～質疑応答～

委員 抽選番号の札は厚紙を使用しているが、厚紙では抽選番号が混ざりづらいつらいとの意見を聞いたことがある。別な物に改善できないのか？

事務局 抽選札についてはあらかじめ全棟分を用意しなければならず、多数の抽選札が必要となる。そのような事情も含めたうえで、検討したい。

*** 提案どおり承認**

③公開抽選会について

- ・公開抽選会は6月18日(日)に市民会館小ホール等で実施。
委員に公開抽選会の抽選、立会いについて説明。

*** 提案どおり承認**

(3) その他

～質疑応答～

委員 民間アパート等の場合、経済的な理由により退去してもらおうケースがある。そのようなケースの方が入居できる空室はないのか？

事務局 例年、一般募集後に空室が発生している状況。単身者が入居可能な空室は無いが、それ以外で条件等が整えば、入居は可能である。ただし、住宅のみの相談であれば住宅課となるが、生活困窮となれば、まずは福祉部での相談が必要となってくる。

委員 昨年の家賃算定誤りに係る対応状況は？

事務局 還付となった世帯についての手続は全て終了した。追徴となった世帯については現在、2世帯が分割納付に応じていただき、1世帯が居所不明、1世帯が理解を得られない状況。それ以外の世帯の追徴手続は全て終了した。

6 閉 会 午前11時00分